

# 第28回

# うつのみやこども賞だより

平成23年度 第9回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『スウィング！』

横沢彰／作 （童心社）

## ～読んだ本の感想より～



- “本気でやりたいなら自分を信じろ” という文がすごい心に残りました。
- 直が学校の部活の練習を休んでまで、田んぼの仕事をやっていた所にかんどうしました。
- わざわざ直のために渚たちが田植えを手伝ってくれるなんて、いい仲間だと思いその友情に感動しました。
- 直たち野球部のおたがいを思い合う気持ちがすごくよくて、感動しました。私も、こんな仲間をつくってみたいと思いました。
- 直が田んぼの仕事と野球の練習を両立させてるのがすごいと思いました。わたしだったらできないんじゃないかと思いました。
- 直と亡くなったお父さんの会話がとても面白かったです。野球と田んぼ…両立しているのがすごいと思いました。

『楽園の蓮』 喜多みどり／作 （角川書店）

- 登場人物1人1人の考えや思いが、文章を通して全て伝わってきました。自分の意思をつらぬき通す蓮がカッコよかった。
- 最初、どうなってしまうのかとハラハラしましたが愛理と蓮の友情はやはり本物だったのかと思い安心し、うれしくなりました。蓮とフェイロンがお互いを信じる気持ちにも感動しました。もう一回読みたい！
- 蓮が、パンとフェイロンとともに、クンをたおしたのがとても良かった。蓮と愛理とフェイロンの友情に感動した！
- 他の人になにを言われても、決して自分の意思を変えることなく自分を信じ、フェイロンも愛理も信じる蓮がとてもカッコよかった。
- 〇〇が蓮を裏切ったのに、蓮は最後まで信じ続けるところに感動しました。

『A アンペア』 篠原勝之／作 （小学館）

- 主人公の友達のトキオが弁当箱でA（アンペア）メーターを作るという発想がおもしろかった。
- 弾がこれからどう成長していくのか続きが気になった。
- アンペアのはかるスピードの量が生きている量というところがおもしろかったです。最後に逆子の子牛とお母さん牛が助かって良かったです。
- トキオに作ってもらったアンペアメーターを使って、牛の出産を手伝ったのはやさしいと思った。

『ツチノコ温泉へようこそ』 中山聖子／作 （福音館書店）

- 凧太郎と恭介がツチノコを見つけたことによって楠木町にツチノコブームが起こったのがおもしろかった。わたしもツチノコを発見してみたい。
- ツチノコを巡って話が展開するのがおもしろかった。
- つちのこを見つけたところがすごかった。
- もうちょっと続けてほしかった。